

様式 1

環境保全行動  
自動車使用管理 計画提出書

2021 年 6 月 30 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所

〒 060-0005
札幌市中央区北5条西2丁目5番地
札幌駅総合開発株式会社
代表取締役社長 平川 敏彦

氏名

(代表者名)

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		69 不動産賃貸業・管理業												
事業の規模	従業員数	230	人	原油換算した	16240.0	k1								
	使用床面積	346708	m <sup>2</sup>	燃料・熱・電気の合計量										
	事業所数	4	事業所	自動車使用台数		台								
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	35700	t-CO <sub>2</sub>	エネルギー起源CO <sub>2</sub> メタン	N <sub>2</sub> O	HFC								
		t-CO <sub>2</sub>	非エネルギー起源CO <sub>2</sub> PFC	SF <sub>6</sub>	NF <sub>3</sub>									
		t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>	t-CO <sub>2</sub>								
提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)				<input checked="" type="checkbox"/> 第 1 項 <input type="checkbox"/> 第 3 項								
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)				<input type="checkbox"/> 第 1 項 <input type="checkbox"/> 第 2 項								
計画期間		2021	年	4	月	1	日	～	2024	年	3	月	31	日
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり												
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	<input type="checkbox"/> 有 (認証名 ) <input checked="" type="checkbox"/> 無												
	その他													

別添

環境保全行動計画書  
自動車使用管理計画書

1 基本的な方針

私たちは、不特定多数の出入りする駅ビルにおいて、エネルギーの使用状況を詳細に把握し、システムの効率的な運用、継続的な運用改善を通して、積極的に省エネ施策に取り組み、地球環境への負荷の低減に向け、貢献します。

2 行動目標

【計画期間】

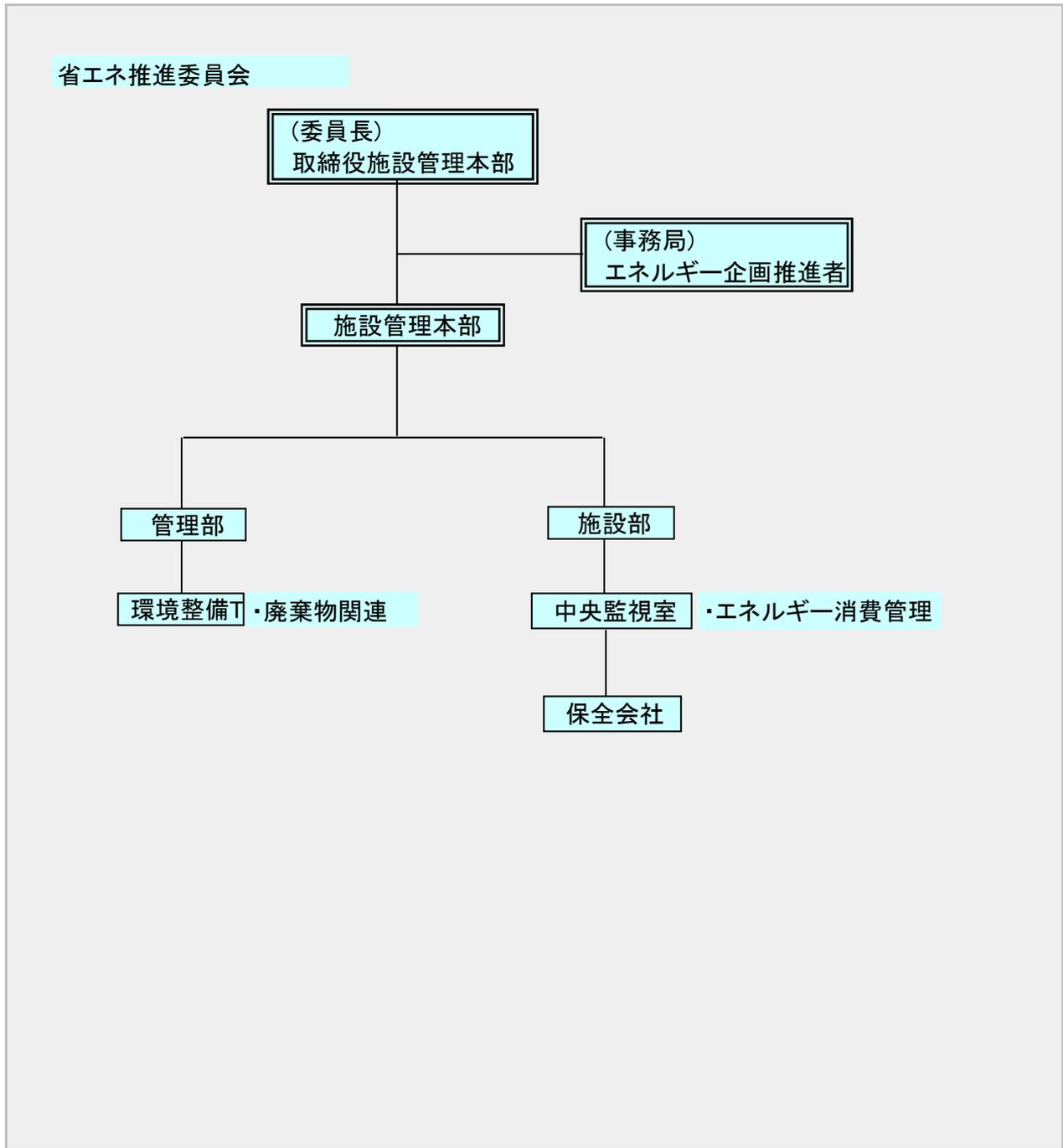
2021年 4 月 1 日 ～ 2024年 3 月 31 日

行動目標	基準数値		目標削減率	目標数値		基準数値の設定根拠	削減項目
	数値	単位		数値	単位		
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	46900	t	1 %	46400	t	H28～H30年度実績	電力、冷温熱
水の使用量の削減	643000	m <sup>3</sup>	1 %	637000	m <sup>3</sup>	H28～H30年度実績	水
			%				
			%				
			%				
			%				

### 3 行動計画

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2021 年度	2022 年度	2023 年度
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	会議室、倉庫等の照明消灯	総務、営業、施設	全員	実施		
	昼休み及び残業時の不要な箇所の照明消灯	総務部	全員	実施		
	商業共用部の節電の実施	事業、営業、施設	全員	実施		
	近い階はエレベータを使用しない。	総務部	全員	実施		
同上	環境に配慮した製品の情報を収集し、購入の割合を高める。	総務、営業、施設	全員	実施		
廃棄物の排出抑制	余剰が出ないよう計画的な物品購入を行う。	総務、経理	全員	実施		
	個人で重複保管されている文房具類は用品棚で共用で行う	総務、経理	全員	実施		
	コピーや印刷物の発注時は再生紙を使用する。	総務部	総務部	実施		
	ビン、缶、ペットボトルの分別化の推進を行う。	管理部	管理部	実施		
同上	資源化可能なごみの分別を徹底し、リサイクルの推進を行う。	管理部	管理部	実施		
	各種印刷物の作成部数の最適化或いは両面印刷の多様化を図る。	総務部	全員	実施		

#### 4 環境保全に係る実施組織体制



#### 5 その他（環境保全活動の取り組み等）

JRグループの一員として、子供見学会やエコチル活動の推進を行う。  
また、節電活動やLED化の推進を行う。